

令和元年度第2期

～「型枠大工」の養成講習～ 「建設人材育成事業」を実施します！

都立多摩職業能力開発センターでは、「建設人材育成事業」型枠コースを実施します。この講習では、建設現場の型枠工事に関する知識と技能を基礎から学び、現場作業に必要な技能講習及び特別教育の資格を無料で多数取得できます。

型枠コース 全15日間（受講料は無料）

（安全衛生2日間、建築概論1日間、型枠施工実習3日間、小型移動式クレーン3日間、高所作業車運転2日間、足場の組立等1日間、玉掛け3日間）

対象者：中小企業に勤務し、型枠大工の職務に従事している方  
型枠大工の職務に従事することを旨とする求職者

募集期間：令和元年11月18日（月）から 11月29日（金）まで

実施期間：令和2年1月21日（火）から 2月26日（水）まで（内15日間）

受講すると、以下の国家資格等を取得できます。

【技能講習】

- 「小型移動式クレーン運転技能講習」
- 「高所作業車運転技能講習」
- 「玉掛け技能講習」

【特別教育】

- 「携帯用丸のこ盤取扱作業安全教育」
- 「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」
- 「足場の組立て等特別教育」

受講料無料！



この他、都立多摩職業能力開発センター八王子校では、型枠コース、鉄筋コースを実施しています。

全年齢層対象

「就職面接会 in 都立多摩職業能力開発センター」を開催しました。

令和元年9月13日（金）、当センター（西立川）において、全年齢対象の就職面接会を開催し、当センター生徒及び来場した一般求職者の58名が参加しました。

会場には、主に多摩地域の製造業、サービス業、卸売業等20社のブースが並び、求職者は各社の求人票を確認しながら、希望する企業ブースで各社人事担当者との面談に臨みました。



熱心に、企業の説明に聴き入る訓練生

### お問い合わせ

○都立多摩職業能力開発センター（西立川）  
042-500-8700（代）

たましょくぎょう 検索

○都立多摩職業能力開発センター八王子校  
042-622-8201（代）

たましょくぎょう八王子 検索

○都立多摩職業能力開発センター府中校  
042-367-8201（代）

たましょくぎょう府中 検索

イメージキャラクター



令和元(2019)年9月20日発行  
都立多摩職業能力開発センター  
人材育成課 技能担当

★ たまねじくんは、「多摩」とものづくりの「ネジ」からなる、多摩職業能力開発センターのイメージキャラクター♥  
「ネジ」だけに、「技能と人」、「人と仕事」をガッチリとつなぎます！  
★ たまねじくんは商標登録しています。

東京都では、就職の機会均等を確保するために、本人の適性と能力に基づく公正な採用選考を実施するよう事業主の皆様のご理解とご協力をお願いしています。詳細は、<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/kaizen/kosei/> をご覧ください。

# 都立多摩職業能力開発センター NEWS LETTER

今号の紙面

第1面 夏休み「ものづくり教育支援プログラム」を実施しました。

第2面 技能祭を開催します！ / 新就職支援推進員の紹介 / 人材アドバイザー藤村が行く！！

第3面 経営者インタビュー⑦(月井精密株式会社 代表取締役社長 名取 磨一 氏  
代表取締役副社長 名取 美佐子 氏)

第4面 令和元年度第1期「建設人材育成事業」を実施します！  
/「就職面接会 in 都立多摩職業能力開発センター」を開催しました。



## 夏休み「ものづくり教育支援プログラム」を実施しました。

都立多摩職業能力開発センターでは、ものづくりの楽しさ、素晴らしさを実感していただくとともに、公共職業訓練への理解を深めて進路の選択肢としていただくため、夏休み期間中に、小・中学生向けの工作教室と高校生向けの実習講座及びバスツアーを実施しました。

### 小学生 工作教室

「アクセサリーづくり」では、紫外線で固まる樹脂で形を作り、中に色や飾りを入れて固め、「レジンアクセサリー」のできあがりです。  
「オルゴール箱の塗装」では、オルゴールの曲を選んだ後、白い箱にカラフルな絵柄を描きました。



(自動車塗装科)

### 中学生 工作教室

金属加工「キースタンドを作ってみよう！」では、大型の機械を使ったり、溶接による金属加工を体験しました。  
(若年者就業支援科(溶接コース))



### 高校生 実習講座

多摩職業能力開発センター3校（西立川、八王子校、府中校）では、9科10講座を開催しました。

#### リレーを用いた電気制御入門



リレーの基礎知識を学び、簡単なシーケンス制御回路の配線作業を体験しました。  
(電気制御基礎養成科)

### 高校生 バスツアー

多摩職業能力開発センター（西立川）、府中校、八王子校の順にバスで巡り、ものづくり体験や校内見学、調理科生徒の作った昼食の試食をしました。



若年者就業支援科でキースタンドづくりの体験実習（西立川）

組込みシステム技術科でのLED点灯回路づくりのミニ実習（府中校）

#### 自動車ドアパネルの補修塗装

損傷した自動車のドアパネルを補修し、エアスプレーガンを使った塗装を体験しました。  
(自動車塗装科)



## 今年も、技能祭を開催します！

都立多摩職業能力開発センター・各校では、都民の皆様へ職業訓練の内容やその成果等をご覧いただくため、施設や実演風景を公開する「技能祭」を開催します。

生徒たちは、この日のために、日頃の訓練の成果をご来場者の皆様へお見せしようと製作に取り組んでおります。是非、生徒たちの技術レベル、施設や設備等の訓練環境などをご覧ください。



技能祭 昨年度の様子

開催校	開催日
センター（西立川）	令和元年 10月 26日（土）
八王子校	令和元年 11月 3日（日・祝）
府中校	令和元年 11月 3日（日・祝）

午前10時から午後3時まで開催しています。ぜひ、お越しください。



今年も模擬店や演奏、お子様向けの工作体験教室等、イベントも多数ご用意しております。是非、ご家族で、お子様連れでお越しください！

## NEW 就職支援推進員の紹介（八王子校）

都立多摩職業能力開発センター・校では、企業の皆様からの求人を受け付け、ご相談に応じ、生徒に紹介しています。八王子校では、今年度から新しい就職支援推進員が担当いたしますので、よろしくお願いいたします。

中嶋 就職支援推進員（八王子校）

今年の4月から6ヶ月コースの就職支援を担当しています。技術・技能を身につけた生徒に、企業の皆様からの求人の申し込みをお待ちしております。

山内 就職支援推進員（八王子校）

今年の4月から1・2年コースの就職支援に携わっています。企業の皆様からの要望を各科指導員と相談しながら、幅広い年齢層の生徒に対応できる支援を心掛けています。

### 求人申込方法

求人票に必要事項を記入の上、当該科目を設置している、多摩職業能力開発センター（西立川）、八王子校、府中校へFAX又は郵送でお申込みください。

求人票の書式は、多摩職業能力開発センター（西立川）各校HPの「書式ダウンロード」からダウンロードしてご利用ください。

## 人材アドバイザー 藤村が行く！！

人材アドバイザーとして、多摩地区を担当しております藤村です。

今号では、多摩市にあるT社の「層別教育計画」をご紹介します。

T社では、社員を階層別（管理職・係長級リーダー・一般）に分け、3年間の層別教育計画を作成し、都の「現場訓練支援事業」を活用した研修を、計画的に実施することにしました。

1年目となる今年度は、7月に幹部・中堅職員向け「ロジカルシンキング研修」、8月に幹部向け「マネジメント研修」を実施しました。今後は、一般職向け「Excel研修」、幹部・中堅職員向け「ロジカルシンキング（上級）研修」を予定しています。

2年目の来年度からは、社員がステップアップできるように「ビジネススキルアップ研修」や「Excel応用研修」等を計画しており、単に社員のスキルアップだけでなく、段階的にモチベーションを高めていくよう設計しています。

低コストで、会社の要望に応じて社員のステップアップができる、現場訓練支援事業やキャリアアップ講習を活用した研修計画を、御社でも立ててみませんか。ご相談をお待ちしております。



### 人材アドバイザーとは

中小企業の従業員のスキルアップや、センター・各校で職業訓練を受けている生徒への求人について、企業訪問を行い、皆様のご要望、ご相談に応じております。

TEL 042-500-8700

## 経営者インタビュー⑦

### ～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介いたします。

第7回目となる今回は、月井精密株式会社 代表取締役社長 名取 磨一氏・同社代表取締役副社長 名取 美佐子氏 に登場いただきました。



名取社長

月井精密株式会社

所在地：東京都八王子市大塚637

創業：昭和56年11月10日

事業内容：航空衛星・自動車・医療・光学・計測機器などの分野における、試作から量産までの幅広い精密機械部品加工

従業員数：16名

会社HP：<http://www.tsinc.jp/>



名取副社長

Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

やる気、誠実さ、人と関わるコミュニケーション能力などを重視してきましたが、これからは、大きく変化する社会、経済の状況に対応できる柔軟性や応用力をより重視するようになると思います。

また、経験上、前のやり方にとらわれがちな経験者よりも、全くの未経験者に1から教えた方がよかったです。採用しているのはほとんど未経験者です。

Q2 採用後の人材育成についてはどのように取り組んでいらっしゃいますか。

非常に難しい加工をしているので、初めは失敗する率が高いです。それを少しでも早く覚えてもらうために、数値化してわかりやすくマニュアル化することで、従来のやり方で1年かかるところを3か月でマスターできるようにしています。そして、成功体験を積むことで、目に見えてグレードアップしていきます。また、常に新しいことに挑戦する体制にして、飽きが来ないようにしています。

Q3 貴社の社員には女性も多いようですが、女性の活用についてどのようにお考えですか。

社員の約半分は女性です。副社長が女性なので、広告塔になって募集すると、女性の応募も多いようです。意外にもものづくりを好きだという女性も多いです。女性の方が状況変化に柔軟に対応できる面もあるかもしれません。

Q4 職業訓練をどのようにとらえていらっしゃいますか。

企業での即戦力を養成することを期待しています。職業訓練を含む教育全般に言えることですが、10年、20年先を見据えて動かないといけなないので、いろいろなことが過渡期にある現在、これから何を教えていくべきか、難しいところだと思います。

Q5 今後のものづくりについて、どのようにお考えですか。

加工分野では、今後ますます3Dプリンタの精度が上がるとともにコストは減少し、ますます機械が主役になっていくでしょう。AI、IoT、ロボティクスが中心となり、単なる加工では生き残れないのではないかと考えています。また、現在、米中や日韓の関係悪化の影響が大きいですが、今後もグローバルに社会、経済環境が揺れ動く中、景気の波の振れ幅も大きくなるでしょう。対応も難しくなるでしょうが、チャレンジし続けたいと思います。

名取社長、名取副社長、ありがとうございました！